

監視カメラ型バレット & 三脚組立マニュアル

監視カメラのバレット型はタレット型と形状が異なり、三脚の高さ調整をする前にカメラの組み立てを行う必要があります。

以下の部品や工具が必要になります

- ・+ドライバー

- ・-ドライバー

あると便利です

- ・ネジ A

「円盤」と配線スタンドを繋げる為です

- ・ネジ B

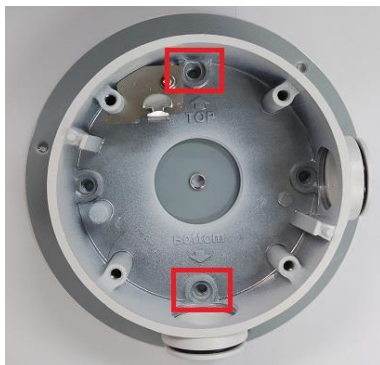
バレット型に付属しているネジで、手順 4 の画像を参照して下さい

- ・L 型レンチ

バレット型に付属しています

- ・インシュロックタイ 2 種類

■バレットの組み立て



1. 三脚用アダプター(鉄製円盤)の上に配線ボックスを載せ、赤枠のネジ穴を合わせ、付属のネジ A を、「+ドライバー」で締めます

- ・円盤は中央のネジの凸穴が図のようになる様に組み立てて下さい

ネジの凸穴



2. 配線ボックスの矢印部分のパーツを回して外します

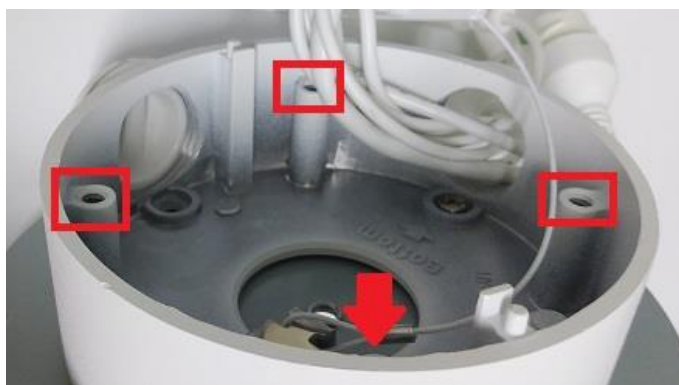
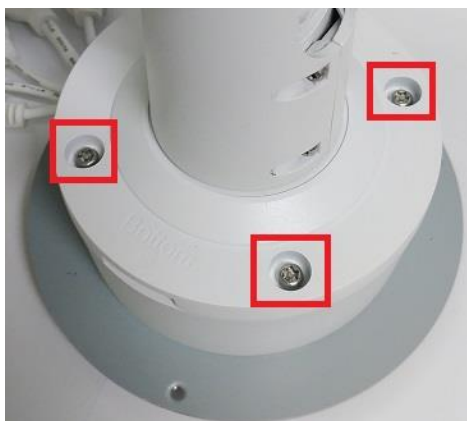


3. バレットの底から出ているケーブル類を手順 2 で外した穴から通します

- ・ ケーブルは短いので端子が大きいものから順に通して下さい
- ・ アース線を赤枠部分に引っ掛けて下さい

4. 配線ボックスの穴からケーブルを通したら、バレットと配線ボックスを赤枠同士で合わせ、右の画像の様な付属のネジ B を付け、同様に付属の L 型レンチで締めます

- ・ バレットの赤枠は 4 か所あります
- ・ バレットの向きはケーブルに負荷が掛からないよう、注意して固定して下さい
- ・ バレットを配線ボックスに組み立てる時、線材を踏みつけない様に気を付けて下さい



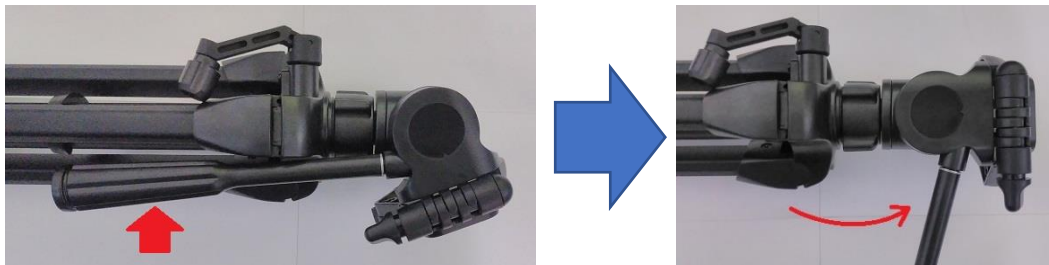


5. バレットのカメラの角度は初期の状態では真上を向いていますが、画像の赤枠の場所を付属の L 型レンチで、半時計回りに緩めると、カメラの角度を調整出来るようになります
- ・ カメラの角度を以下の画像の様に変更したら、ネジを L 型レンチで締め、角度の調整は完了です

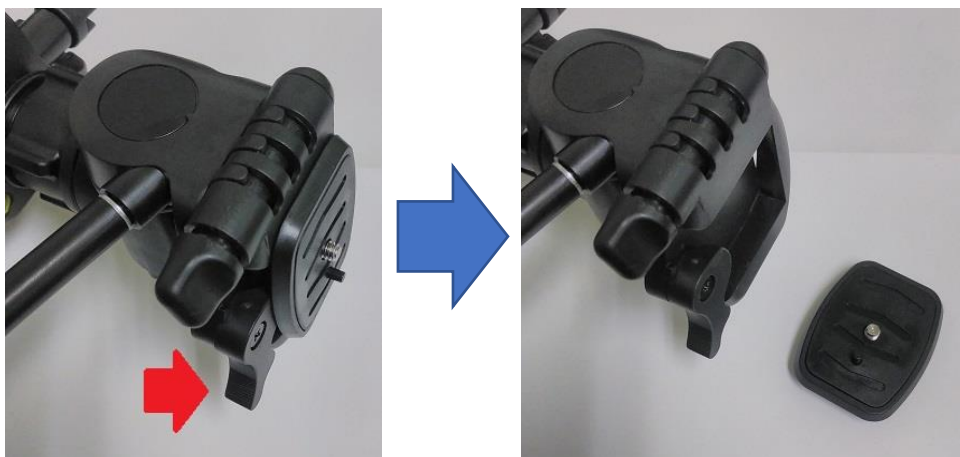


6. 円盤の外側にある穴に付属のインシュロックタイ(細い結束バンド)を画像の様に輪を作ります
- ・ こちらは後ほど使用します

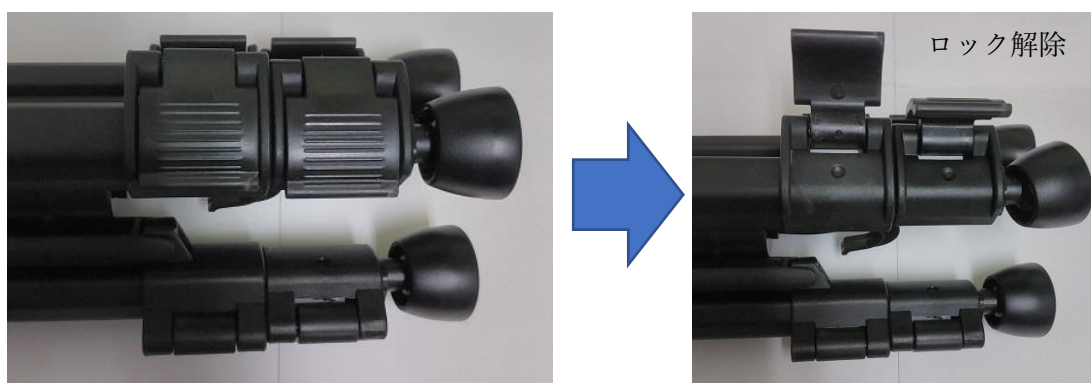
1. 三脚の図の矢印のグリップを回し緩めます
2. グリップを緩めたら画像の様に三脚の雲台部分の向きを変えます
三脚の雲台部分にハンディが取付けられます



3. 雲台部分の向きを変えられたら、グリップを締めます
4. 雲台部分の矢印のレバーを指で回転させ、取付金具を外します



5. 三脚の脚を伸ばすには、三脚のそれぞれの脚に 2 個、高さ調整用のつまみがあります。そのつまみのロックを解除します





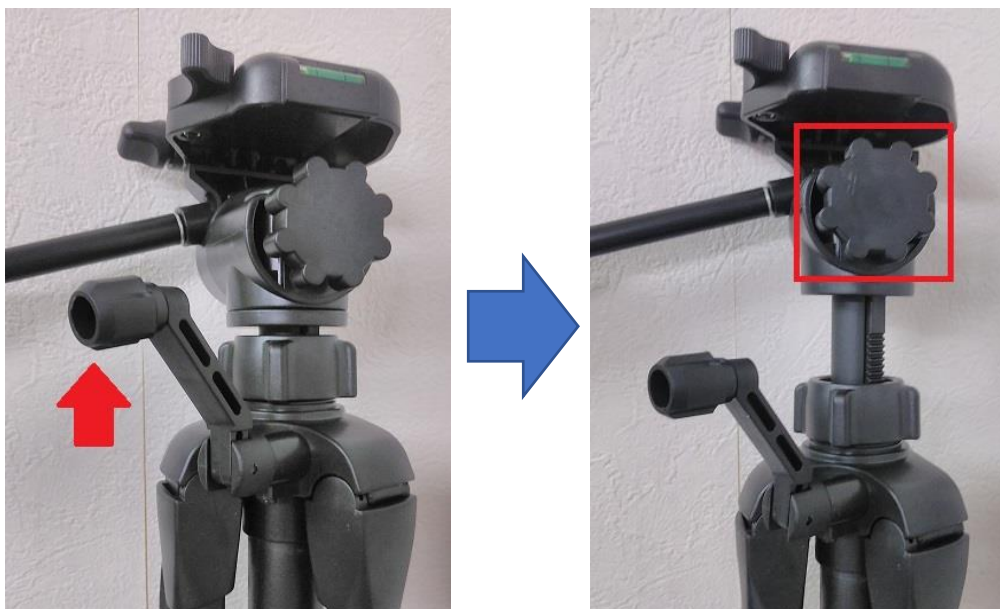
6.三脚の脚を伸ばすと、左図の様になります

7.脚を広げて安定させて下さい



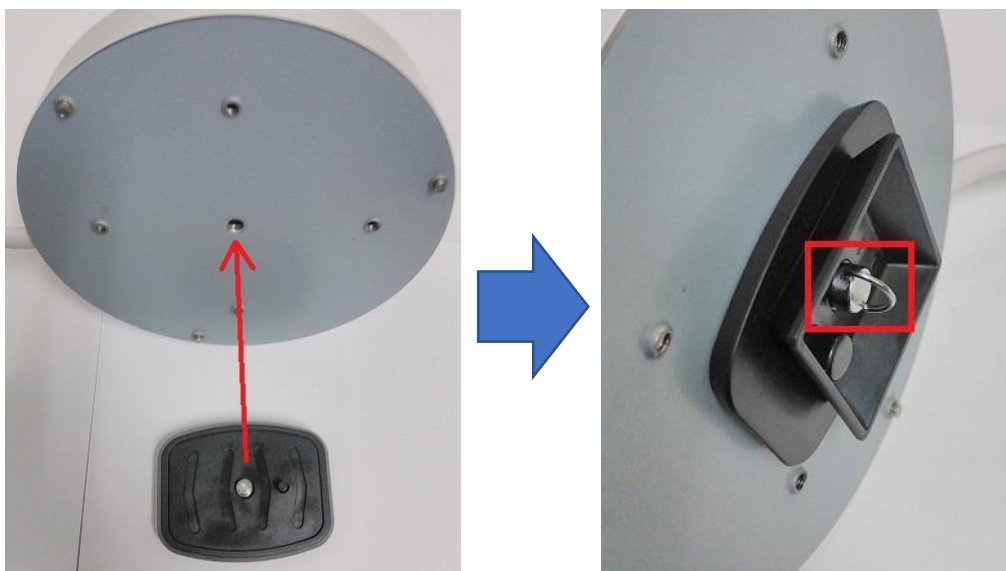
8. また、矢印のハンドルを回すと、三脚の支柱の高さ調整出来ます

- ・ 伸ばした後はハンドルを畳んで下さい
- ・ 上部部分の横方向への変更をする場合は、赤枠内のネジを緩めれば回転出来ます

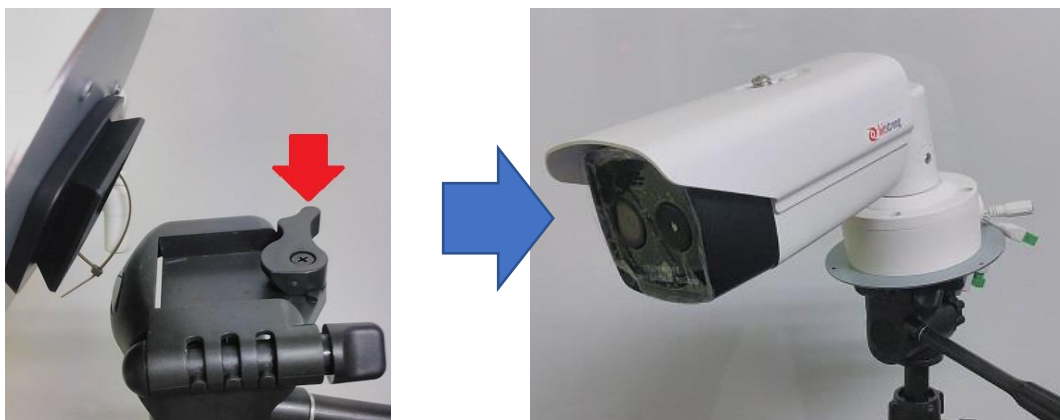


9. 手順4で取り外した取付金具をハンディ下部のネジ穴に取付けて下さい

接合部を固定する時は赤枠のつまみを回すと締まります



10. バレットを三脚に取付ける時、三脚の雲台部分のレバーを指で回転させ、画像の手前側から入れて離してバレットを固定します



11. バレットが重量で傾かない様にする為、手順 12 で作った輪に新たに調整を行える付属のリピータイを図の様に通して、丁度いい角度で固定します
- ・リピータイは調節を行うロックがあり、それによりバレットの任意での調整が可能です



- 12.電源、LAN ケーブルを接続し完成です